

明野地区

1. まちづくりの目標

「緑に包まれ、成熟した

生活文化拠点の形成」



本地区は、臨海工業地帯の背後に位置する住宅地として開発され、近年、中心部では、隣接する松岡地区における大分スポーツ公園の整備や民間による大規模開発、新産業都市に対応した住宅地の役割の変化などにより、社宅等の利用から定住化への転換が進行しています。

また、都市近郊における身近な緑あふれる松栄山の風致地区などが存在し、豊かな自然環境をはぐくんでいる地区でもあります。このように本地区は、従来からの業務機能に加え、さらに文化機能・商業機能・居住機能を充実させ、日常の買い物と利便性の高い生活サービスを付加することで成熟化を必要とする地区です。

このようなことから本地区は、「緑に包まれ、成熟した生活文化拠点の形成」をまちづくりの目標とします。

明野地区の将来都市構造図



序章
都市計画
マスタープランとは

第1章
都市づくりの目標

第2章
全体構想

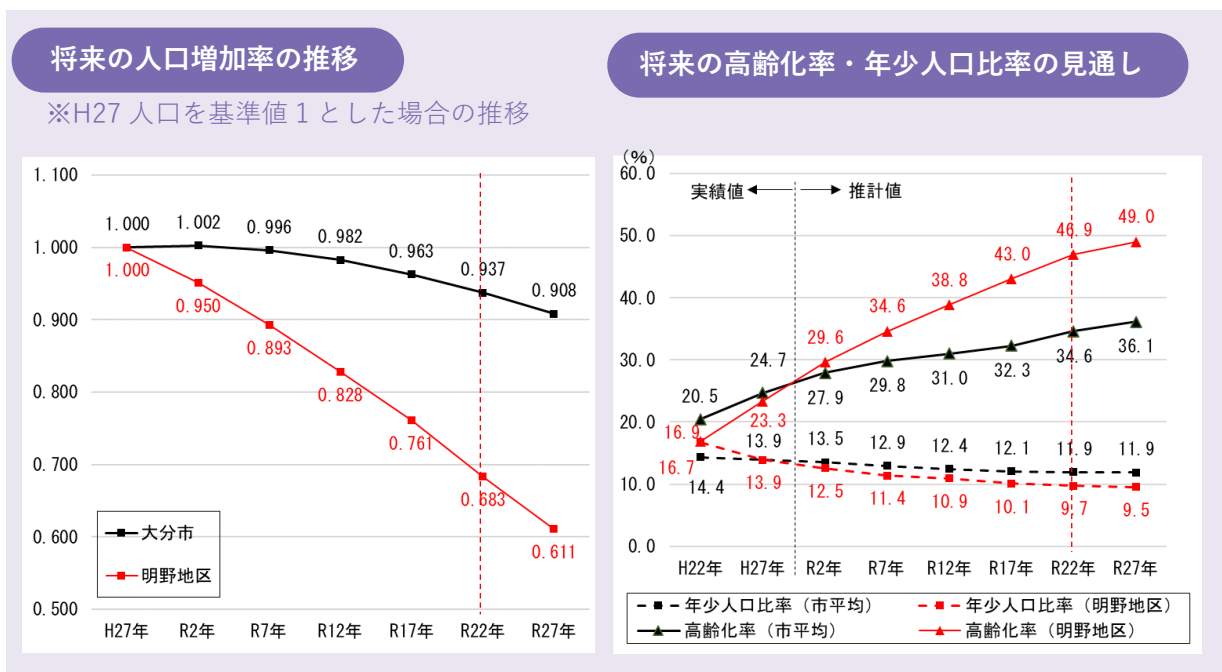
第3章
地区別構想
明野地区

第4章
計画の実現に向けて

第3章 地区別構想

2. 地区の現況

- ・昭和 39 年の新産業都市建設促進計画に沿って、新住宅市街地開発事業により計画的に都市基盤整備と住宅建設が進められ、ベッドタウンとして発展してきました。
- ・地区人口は、昭和 50 年には約 1.7 万人であったものが、平成 12 年までは、一貫して増加傾向が続き、人口は約 2.7 万人と約 1.6 倍になっていましたが、平成 17 年には、一転して減少し、平成 27 年時点では約 2.4 万人となっています。
- ・将来人口をみると減少傾向が続き、平成 27 年から令和 22 年の間で約 3 割の人口が減少する見通しです。
- ・高齢化率は平成 27 年で 23.3%、令和 22 年には 46.9%に上昇し、年少人口比率は平成 27 年で 13.9%、令和 22 年には 9.7%になる見通しです。

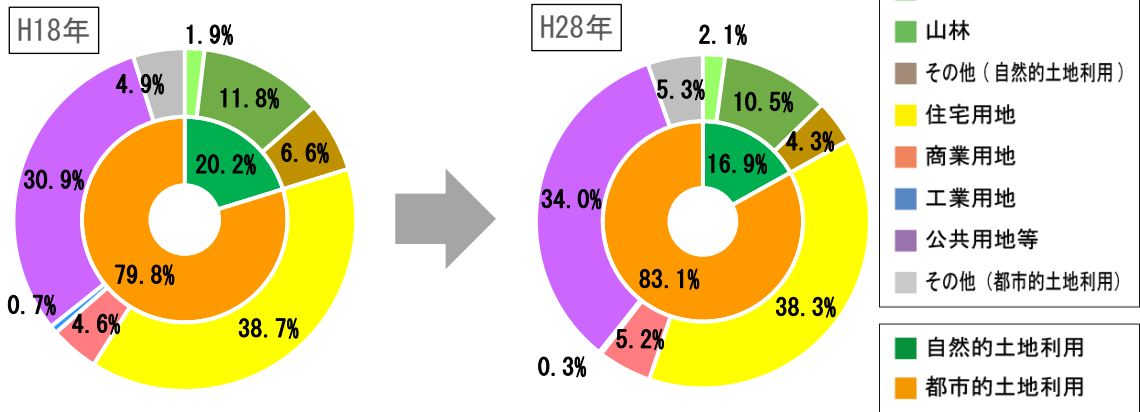


※推計値は、「大分市人口ビジョン」に示す「地域別の人口推移」を基に作成

※この推計は、2010年から2015年までの5年間の人口変動が将来にわたって続くと仮定し計算したものであるため、2016年以降に人口変動に大きな影響を及ぼす要因が発生した場合、将来人口推計が大きく変化する可能性があります。

- ・土地利用動向については、地区面積 440ha で宅地や道路などの都市的土地利用面積は 83.1%、森林等の自然的土地利用面積が 16.9%となっています。平成 18 年から平成 28 年にかけて自然的土地利用面積が減少しています。

土地利用の動向



- ・都市基盤の整備状況については、新住宅市街地開発事業により道路公園などが整備されています。地区の主要な道路として、県道大分白杵線、(都)向原尾崎線、(都)萩原明野線及び(都)東原明野線が整備されていますが、県道大分白杵線の主要な交差点において交通渋滞が発生しています。
- ・市街化及び開発の動向については、昭和 40 年代から明野団地及び周辺地区において住宅開発が行われてきました。近年、隣接する松岡地区におけるスポーツ公園整備や民間による大規模開発、新産業都市に対応した住宅地の役割の変化などにより、社宅としての土地利用から定住化に向けたマンション建設等への転換が見られます。また、地区の中心部では、次世代に対応した再開発が進行しており、地域における良好な環境等を維持・向上させるための取組が行われています。



明野地区中心部



マンション群

第3章 地区別構想

3. まちづくりの課題

1 | 土地利用・市街地整備

- ・明野中心部においては、地区拠点としての文化・商業・業務施設の機能強化が必要です。
- ・新産都関連の企業社宅から分譲マンション等への建て替えが進むなか、定住化へむけた土地利用転換や地域商業等の活性化が求められています。

2 | 交通施設

- ・松岡地区の大分スポーツ公園やパークプレイス大分などとの連携強化が必要です。
- ・地区の南側に位置する松岡地区において、大分スポーツ公園整備や民間開発が進み、交通量の増加による地区内の主要交差点で交通渋滞が発生しています。
- ・中心市街地との連携強化のため、(都)庄の原佐野線の整備が求められています。
- ・安全・安心な歩行空間の確保に向けた取組が求められています。
- ・少子高齢化の進展等に備え、交通弱者の移動の利便性や安全性を向上させる必要があります。

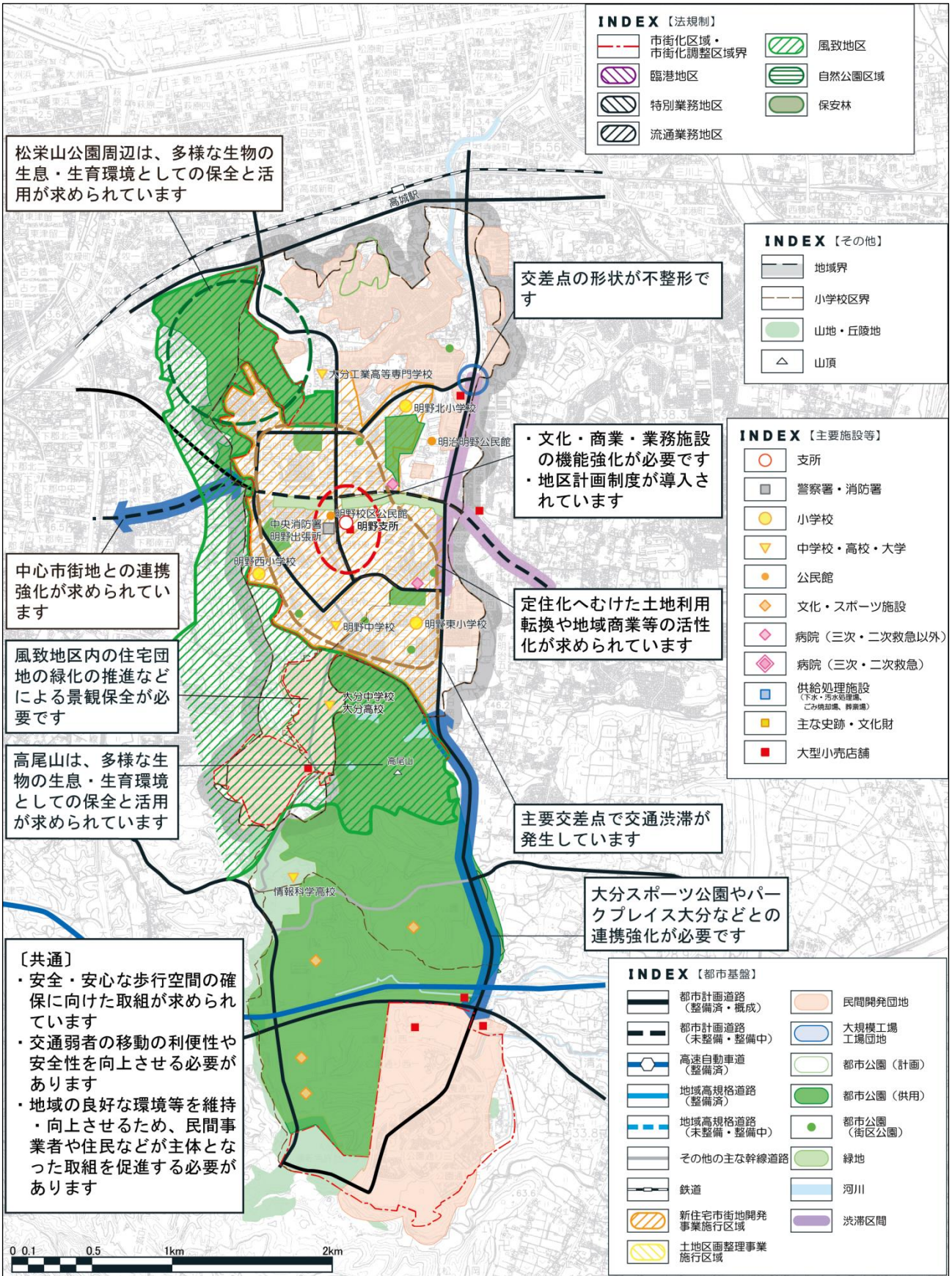
3 | 環境・景観

- ・松栄山風致地区内の開発住宅団地における緑化の推進などによる景観保全が必要です。
- ・高尾山や松栄山公園周辺は、エコロジカルネットワークの拠点地区・中核地区であることから、多様な生物の生息・生育環境としての保全と活用が求められています。
- ・地区中心部においては、地区計画による良好な景観形成が求められています。

4 | その他

- ・地域における良好な環境等を維持・向上させるため、民間事業者や住民などが主体となった取組を促進する必要があります。

明野地区の現況及び課題図



序章
都市計画
マスタープランとは

第1章
都市づくりの目標

第2章
全体構想

第3章
地区別構想
明野地区

第4章
計画の実現に向けて

第3章 地区別構想

4. まちづくりの方針

1 | 土地利用・市街地整備

- ・土地区画整理事業による基盤整備が整った明野中心部においては、地区計画制度の活用などにより、文化・商業・業務施設や生活サービス施設などの機能強化による地区拠点の形成を図ります。
- ・安心して快適に暮らせるまちの実現に向けて、道路整備等の周辺環境の変化に対応した土地利用の転換を促進するなど定住化を図ります。

2 | 交通施設

- ・南北方向の都市内連携軸として、松岡地区との連携強化を推進するとともに、交通量の増大に対応するため、渋滞緩和を目指します。
- ・安全で円滑な交通流動確保のため、猪野団地入口交差点の改良に向けた取組を進めます。
- ・中心市街地との連携を強化し、東西方向の軸となる(都)庄の原佐野線の整備を目指します。
- ・交通安全施設の整備など安全・安心な歩行空間の確保に向けた取組を進めます。
- ・歩道などのバリアフリー化を推進します。
- ・公共交通の充実に向けて関係機関にはたらきかけます。
- ・新たな交通システムの導入検討など、大分スポーツ公園周辺へのアクセス強化の在り方について検討を進めます。

3 | 環境・景観

- ・松栄山風致地区内の住宅団地を中心に、公園や幹線道路の緑地を維持・創出するとともに、宅地内緑化の推進により緑豊かで良好な景観の形成を図ります。
- ・高尾山や松栄山公園周辺の自然環境の保全と活用を図ります。
- ・地区中心部においては、明野中心部地区地区計画により地区施設の整備や緑化を促進し、ゆとりとうるおいのある景観形成を図ります。

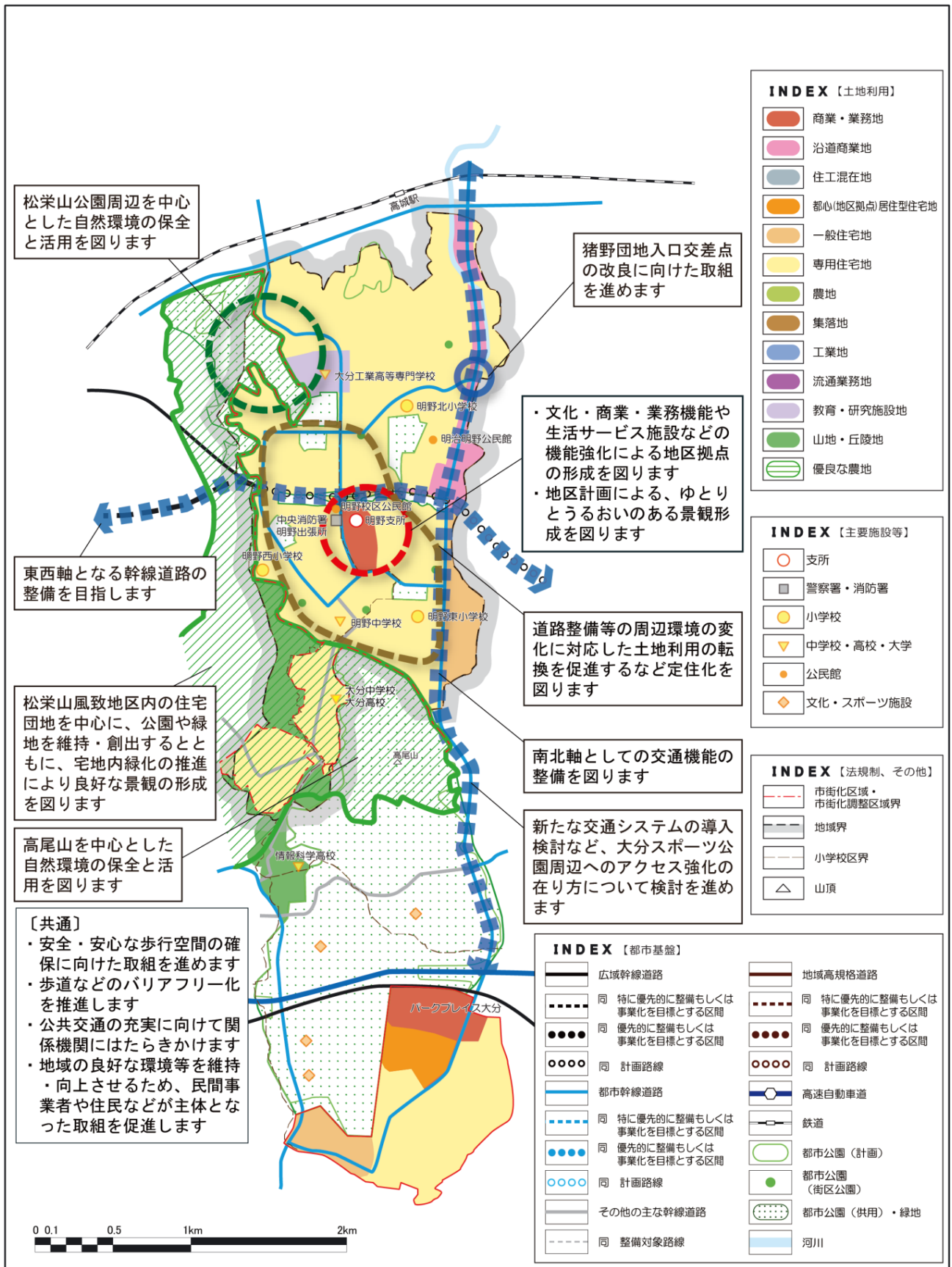


高尾山ふれあい広場

4 | その他

- ・地域における良好な環境等を維持・向上させるため、民間事業者や住民などが主体となった取組を促進します。

明野地区のまちづくりの方針図



序章 都市計画マスタープランとは

第1章 都市づくりの目標

第2章 全体構想

第3章 地区別構想 明野地区

第4章 計画の実現に向けて